

# 2016年度 エコアクション21 環境活動レポート

(活動期間) 2016年5月 ~ 2017年4月



**株式会社石原起業**

作成日 : 2017年 7月 20日

改定日 : 2017年 12月 12日

## 【 目 次 】

表 紙	1
目 次	2
1. 事業概要	3
1) 事業者名及び代表者名	3
2) 創業	3
3) 所在地	3
4) 資本金	3
5) 環境管理責任者	3
6) 連絡先	3
7) 事業活動の内容	3
8) 事業規模	3
9) 認証・登録の対象組織	3
10) 推進組織図	4
11) 許可の内容	5
a) 収集運搬業の許可番号・有効期限・許可品目	5
b) 処分業の許可番号・有効期限・許可品目	5
12) 保有車両	6
13) 中間処理施設の概要	6
14) 処理実績	6
15) 処理工程	7
2. 環境方針	8
3. 環境目標及びその実績	9
4. 環境活動計画の内容と取組結果の評価及び今後の取組	10
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無	11
6. 代表者による全体の評価と見直しの結果	11

# 1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 石原起業  
代表取締役社長 石原 了

2) 創業

昭和51年1月6日

3) 所在地

本社 〒262-0044  
千葉県 千葉市 花見川区 長作町938番地2  
プレステージ8番館106  
事務所 〒262-0031  
千葉県 千葉市 花見川区 武石町1丁目258番地  
汚泥中間処理場 〒262-0032  
千葉県 千葉市 花見川区 幕張町4丁目1988番地1他

4) 資本金

4, 000万円

5) 環境管理責任者

EA21責任者 : 環境部 石原 豊

6) 連絡先

連絡担当者 : 平野 雄大  
TEL : 043-272-9271  
FAX : 043-275-2509  
E-mail : ishiharakigyo@nifty.com  
URL : <http://www.ishiharakigyo.com/>

7) 事業活動の内容

- ・産業廃棄物の収集運搬
- ・汚泥の中間処理
- ・再生土の販売

8) 事業規模 ( 事業年度 : 5月~4月 )

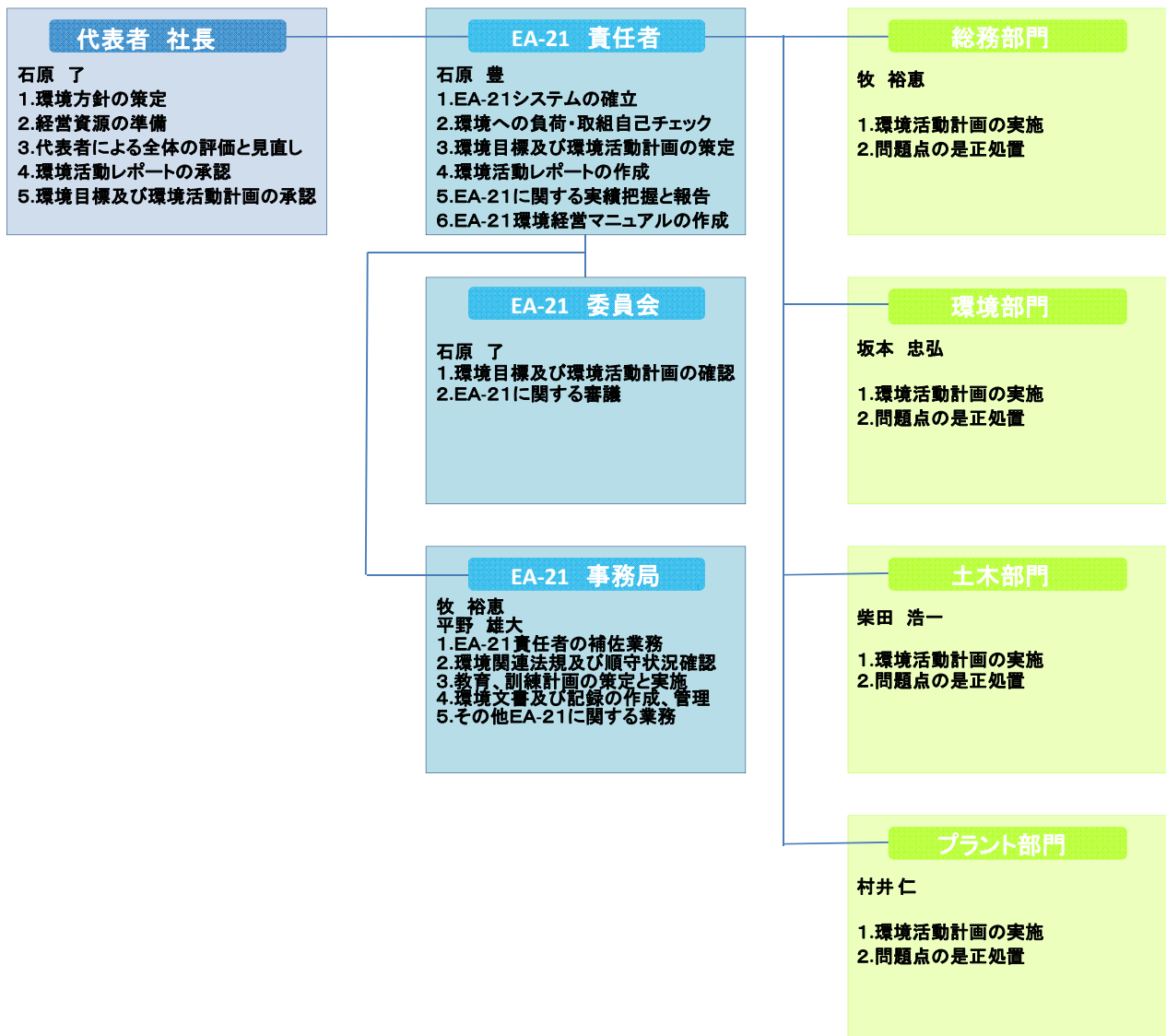
売上高 : 9億2,193万円  
従業員数 : 18人

9) 認証・登録の対象組織

登録組織名 : 株式会社石原起業  
対象事業所 : 本社  
事務所  
汚泥中間処理場  
事業活動 : 上記7)の内容

10)推進組織図

推進組織図



11) 許可の内容

a) 収集運搬の部

地域	優良認定	許可年月日	有効年月日	許可番号	区別	品目数	許可品目
千葉県	優	H29.6.25	H36.6.24	第01200001282号	産廃	13	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
"	優	H26.11.21	H33.11.15	第01250001282号	特管	7	廃油、廃酸、廃アルカリ、 特定有害産業廃棄物(廃油、汚泥、廃酸、廃アルカリ)
埼玉県		H24.12.16	H29.12.15	第01107001282号	産廃	12	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
"		H26.11.26	H31.11.15	第01157001282号	特管	5	廃油、廃酸、廃アルカリ、 特定有害産業廃棄物(廃油、汚泥)
茨城県		H24.12.3	H29.11.17	第00801001282号	産廃	11	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、木くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
"	優	H26.11.26	H33.11.25	第00851001282号	特管	5	廃油、廃酸、廃アルカリ、 特定有害産業廃棄物(廃油、汚泥)
栃木県	優	H29.6.25	H36.6.24	第00900001282号	産廃	11	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
"	優	H26.11.22	H33.11.21	第00950001282号	特管	7	廃油、廃酸、廃アルカリ、 特定有害産業廃棄物(廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥)
東京都		H26.3.1	H31.2.28	第01300001282号	産廃	15	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、銚さい、がれき類、ばいじん
"	優	H28.6.6	H35.6.5	第01357001282号	特管	7	廃油、廃酸、廃アルカリ、 特定有害産業廃棄物(廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥)
神奈川県	優	H27.11.2	H34.9.29	第01403001282号	産廃	16	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、銚さい、がれき類、ばい
"		H26.4.30	H31.4.29	第01453001282号	特管	4	廃油、廃酸、廃アルカリ、 特定有害産業廃棄物(汚泥)
群馬県		H25.8.10	H30.8.9	第01000001282号	産廃	9	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず
福島県		H25.9.24	H30.9.15	第00707001282号	産廃	10	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、木くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず

b) 処分の部

地域	優良認定	許可年月日	有効年月日	許可番号	区別	業の区分	許可品目
千葉市	優	H24.4.20	H31.2.28	第05520001282号	産廃	固化施設による中間処理	汚泥(無機性汚泥に限る)

## 12) 保有車両

種類		台数	備考
ダンプトラック	10t	4	
深ダンプ	10t	2	
平ボディ	10t	1	
アームロール	4t	2	
アームロール	8t	1	
バキューム	10t	1	
営業車		5	

## 13) 中間処理施設の概要

## 産業廃棄物保管・中間処理施設

処理業者名・代表者	株式会社 石原起業・代表取締役 石原了		
処理業者住所	千葉県 千葉市 花見川区 長作町938番地2 プレステージ8番館106		
施設の設置場所	千葉県 千葉市 花見川区 幕張町4丁目1988番地1他		
施設の責任者	村井 仁		
施設	中間処理施設		
産業廃棄物の種類	汚泥(無機性汚泥に限る)		
処理能力	リテラBZ200		640m <sup>3</sup> /日
	ペレガイアVZ-1000F		192m <sup>3</sup> /日
許可番号	第05520001282号		
許可期限	平成31年2月28日		
場内使用重機	コマツPC-200	2台	
	コマツPC-78	1台	
	コマツWA-100	1台	

## 14) 処理実績 (2016年度)

収集運搬量 37,556t      中間処理量 101,997t

15) 処理工程  
処理フロー図

# 汚泥再生プラント

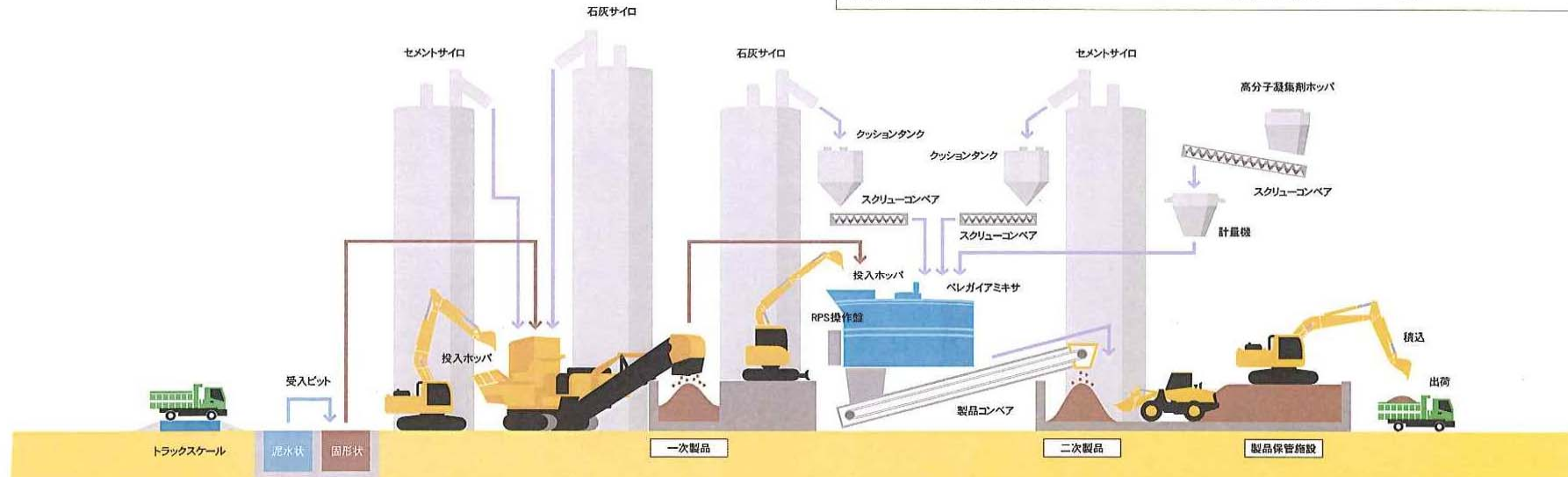
100%完全マテリアルリサイクルのため、最終処分先になる施設です。  
そのため manifests 伝票の E 票がこの施設で完結します。

**施設概要**

施設の設定場所 千葉市花見川区幕張町四丁目1988番1 他  
取扱産業廃棄物の種類 汚泥(無機性汚泥に限る)  
事業区分 固化施設による中間処理  
施設の種類の 汚泥の固化施設  
許可番号 第05520001282号

**処理能力・保管施設**

処理能力「リテラBZ200」	640m <sup>3</sup> /日(8時間)
処理能力「ベレガイアVZ-1000F」	192m <sup>3</sup> /日(8時間)
廃棄物保管施設保管容量	576m <sup>3</sup>
製品保管施設保管容量	467m <sup>3</sup>
製品保管施設保管容量	76.8m <sup>3</sup>



リテラBZ200全景



ベレガイア全景



投入ホッパ



RPS操作盤



ベレガイアミキサ



高分子凝集剤ホッパ

# 環境方針

ISHIHARAKIGYO CO.,Ltd

## ■基本理念

株式会社 石原起業は「産業廃棄物処分業」「収集運搬業」の運営を行う上で地球環境の保全に配慮して行動し、循環型社会の発展に貢献することを進めていく事とともに、事業活動が環境に与える影響を認識し「エコアクション21環境経営システム」を導入することにより資源エネルギーの有効活用、汚染防止、適正処理及びリサイクルを継続的に推進します。

## ■環境方針

- 1 委託された廃棄物を、安全かつ適正に収集・運搬・処分をおこなうと共に、リサイクル製品の品質の向上に努めます。
- 2 環境法規制を遵守すると共に、地域住民との調和をはかり環境保全活動を通じて社会に貢献します。
- 3 省資源・省エネルギー・リサイクル・効率的業務の推進など、業務の効率化に取り組み環境保全活動を推進します。
- 4 安全かつ健康的な職場環境の提供。社員に適切な訓練を施し、安全確保および緊急用の適切な機器を備えます。
- 5 教育訓練の実施により、環境に対する意識向上を図り、全社員に周知します。

平成25年1月11日

株式会社 石原起業

代表取締役 石原 了



### 3.環境目標及びその実績

(5月～4月)

活動項目(単位)		年度	2015年度			2016年度			2017年度		2018年度	
			基準値	目標	実績	評価	目標	実績	目標	実績		
1	電気使用量の削減 総電気使用	kWh/年	37,987	37,607	34,210	○	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減		
		kg-CO2/年	20,171	19,969	18,166		前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減		
2	ガソリン使用量の削減	L/年	6,087	6,026	5,432	○	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減		
		kg-CO2/年	14,132	13,991	12,611		前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減		
	軽油使用量の削減	L/年	212,970	210,840	246,781	×	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減		
		kg-CO2/年	558,906	553,317	647,637		前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減		
	LPG使用量の削減	kg/年	134	132	43	○	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減		
		kg-CO2/年	401	397	128		前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減		
CO2総排出量の削減		kg-CO2/年	593,610	587,673	678,542	×	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減	前年比1%減		
3	一般廃棄物の削減	可燃ゴミ t/年	0.396	0.396	0.324	○	前年比維持	前年比維持	前年比維持	前年比維持		
4	水資源使用量管理		地下水利用の為、計測不可。節水シール等の表示により節水を心がける。		節水シール等の表示により心がけることが出来た。	○	地下水利用の為、計測不可。節水シール等の表示により節水を心がける。					
5	化学物質使用量管理		希硫酸・苛性ソーダ・石灰を使用、使用量を把握し適正管理の推進		適正管理が出来た。	○	希硫酸・苛性ソーダ・石灰を使用、使用量を把握し適正管理の推進					
6	グリーン購入		再生紙の購入・エコマーク商品の購入		積極的なグリーン購入を行った。	○	再生紙の購入・エコマーク商品の購入					
7	事業活動に対する環境配慮 (処分受託産業廃棄物の再資源化率100%の維持)	再資源率	100%	100%	100%	○	100%	100%	100%	100%		
		処理量 t/年	77,686		101,997							
8	環境保全活動の実施											
	①教育訓練	回/年	12	12	12	○	12	12	12	12		
	②奉仕活動	回/年	12	12	5	×	12	12	12	12		

CO2排出係数	電気使用	0.531	kg-CO2/kWh
	ガソリン	2.322	kg-CO2/L
	軽油	2.624	kg-CO2/L
	LPG	3.002	kg-CO2/kg

## 4.環境活動計画の内容と取組結果の評価及び今後の取組

当社としては、本社及び処理施設の事業活動における環境への負荷を低減するために、以下の活動を実施している。

環境目標		実施事項	評価	結果の評価・今後の取組
1	CO2 排出量の削減	電気使用量の削減 (CO <sub>2</sub> の削減)  【目標】 総電気使用量 2015年度比 1%削減	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みにより年間の目標を達成している。</li> <li>・現状に満足することなく環境に携わる事業者として社員一丸となり更なる向上を目指す。</li> </ul>
		燃料使用量の削減 (CO <sub>2</sub> の削減)  【目標】 ガソリン・軽油・LPGの使用量 2015年度比 1%削減		
3	一般廃棄物の削減  【目標】 一般廃棄物量削減 2015年度比 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>①廃棄物の分別の徹底</li> <li>②リユース、リデュース、リサイクル推進</li> <li>③排出量の管理</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みにより年間の目標を達成している。</li> <li>・現状に満足することなく環境に携わる事業者として社員一丸となり更なる向上を目指す。</li> </ul>
4	水資源使用量管理  【目標】 地下水利用の為計測不可 節水活動	節水シール等の表示・車両洗浄水の節約	○	節水シール等の表示により皆、心がけることが出来た。 今後も活動を継続して取り組む。
5	化学物質使用量管理	希硫酸・苛性ソーダ・石灰を使用。使用量を把握し適正管理致します。	○	使用量の把握、適正管理が出来た。 今後も活動を継続して取り組む。
6	グリーン購入	再生紙の購入・エコマーク商品の購入をする。	○	積極的なグリーン購入を行った。 今後も活動を継続して取り組む。
7	事業活動に対する環境配慮 (処分受託産業廃棄物の再資源化)  【目標】 再資源化率 100%維持	中間処分方法の改善	○	受入制限・適正処理により目標を達成できた。 今後も活動を継続して取り組む。
8	環境保全活動の実施  【目標】 2015年度比 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>①社内安全会議等による教育訓練の実施</li> <li>②全従業員による奉仕活動の実施</li> </ul>	△	奉仕活動の年間の目標を達成していない。現行の毎月第二火曜日を実施日、やむを得ず変更する場合は翌週第三火曜日とすることで目標を継続して様子を見ることとする。

評価 ○：環境活動計画が実施され目標達成に繋がった。  
△：環境活動計画が実施されたが一部目標未達成があった。  
×：環境活動計画が実行不足で目標の達成に繋がらなかった。

## 5.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

関連法規は以下の通りである。

- ・浄化槽法
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)
- ・特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律(家電リサイクル法)
- ・使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)
- ・特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)
- ・消防法
- ・自動車Nox、PM法
- ・水質汚濁防止法
- ・グリーン購入法
- ・フロン排出抑制法

関連法規制の遵守状況確認を毎年1回実施しており、違反はありませんでした。

苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション結果

本年度も苦情は1件も上がっていない。

月に一度の奉仕活動が予定通り実施できないことが多かったが、活動日に関わらず一人ひとりが清掃に対する意識を高めることが重要。工場へ出入りする車両が増える時期は普段以上に埃・泥・臭気等に配慮しながら運営していく必要がある。

また、創業以来関係機関からの指摘及び訴訟等はありません。

## 6.代表者による全体の評価と見直しの結果

環境目標について

毎月第二火曜日を実施日と定めたが悪天候や仕事状況により延期するケースが多かったので、その後の対応について再度検討が必要。

現行の毎月第二火曜日を実施日、やむを得ず変更する場合は翌週第三火曜日とすることで目標を継続して様子を見ることとする。

環境方針について

改定の必要はなし。今まで通りの方針に基づき運営する。